



お知らせ

News



【AP関連】第3回ファカルティー・ディベロッパー（FDer）養成研修会を実施しました！

2015年09月10日

8／31（月）、A Pアクティブ・ラーニング部会において、「第3回ファカルティー・ディベロッパー（FDer）養成研修会」を実施しました。

今年度3回目となるこの研修会は、教育改善の主導的役割を果たすFDerを務める各学科・コースの教学委員が、自身を含めた学科の授業において導入している教育的取組を紹介し、その成果と課題を共有することによって、参加者それぞれが教育改善の示唆を得ることを目的としています。

今回の研修では、短期大学部総合生活デザイン学科の「初年次セミナー」における「五訓」教育の実践例が報告されました（報告者：森田清美 教授）。

-----（報告の概要はここから）--

建学の精神「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」とともに、本学初代学長の国信玉三が唱えたのが「正直」「勤勉」「清潔」「和合」「感謝」の五訓です。総合生活デザイン学科では例年、同窓会「楷の樹会」の協力を得て、テーマごとに卒業生を講師として迎え、テーマに基づいた講演を聞いた後に、学生同士で討議するグループ・ワークをし、テーマに基づき考えたことを一人ひとりプレゼンテーションしました。

-----（ここまで）--

このことにより、学生はより一層そのテーマを自分のこととして捉えられたようです。何年も前から既に行われていたこの「五訓」教育が、アクティブ・ラーニングの形態を導入するとともに、毎年少しずつ修正や工夫を加えて継続されていることがよくわかりました。

（総合生活デザイン学科のブログでも紹介されています。）

[初年次セミナー「五訓を学ぶ」始まる](#)

[初年次セミナー「五訓を学ぶ」\(その2\)](#)

[初年次セミナー「五訓を学ぶ」\(その3\)](#)

参加者からは「グループ編成を毎回変更し、全員が自分の言葉で発表する工夫が能動的な姿勢につながっている」「テーマを深く捉え、質疑応答に発展させるにはどうしたらよいか」など、この取組の成果と課題について活発な意見交換が行われました。

学びが真の経験となるためには、能動的であること、他者からの働きかけを受け止めながら自分の考えを再構築することが必要です。今後もこの「FDer養成研修会」を通して、比治山大学の貴重な財産である優れた教育的取組を全学的に共有していきます。

もどる

比治山大学・比治山大学短期大学部 〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1